



2005.5.20 No.9

# かみまち議会だより



4月23日、修復された仁王尊像を  
祝い神楽が奉納された  
(北川内：仁王堂)

|           |        |
|-----------|--------|
| 議長あいさつ    | P2     |
| 議員紹介      | P3     |
| 平成17年度予算  | P4~5   |
| 予算審査      | P6~7   |
| 条例の制定及び改正 | P8     |
| 委員会報告     | P9~11  |
| 委員会構成     | P12~14 |

平成17年  
第1回定例会  
第2回臨時会

# 正副議長選出される

町民のみなさまへ

就任にあたって

加美町議会議長 米澤 秋男

この度、合併後初の町議会選挙において、二十名の議員が当選を果たし、同僚議員各位の温かいご推挙をいただき議長に就任することになりました。もとより浅学非才であり、身に余る光栄と心から深甚なる感謝の意を表するものであります。同時に地方自治の現状と対峙する時、その立場の重さを強く感じ、身の引き締まる思いであります。

さて、本町は平成十五年四月一日に合併し「加美町」となりました。合併は最大の行政改革といわれ三町とも行政改革推進が緊急の課題であったため、必然的に行われた歴史的一大事業であり、当然のことながら本町の将来を展望した総合基本計画に基づいた町づくりを推進しなければなりません。議会は、財政の健全化、高齢社会の適切な対応も含め、町民福祉の増進、農業振興の基盤強化を図り、商工業に潤いを持たせ、町民生活の安定を図るための努力をすることは、町政に関わる私たち議会に課せられた責務であります。

議会は心を新たに「自治の確立」と「議会の活性化」を目指し、町民皆様の信頼と期待に応えられるよう議会活動に邁進いたします。旧中新田町、旧小野田町、旧宮崎町の先人や先輩の方々が血の滲むような努力によって築いた美しい自然や歴史的な文化遺産を大切に守り育て、魅力ある新しい「ふるさと加美町」を創ってまいります。そして、「何が正しいのか」、「何が加美町全体のためになるのか」を基本姿勢に自己の良心と信念に基づいて、公平、公正なる議会運営を目指してまいります。どうか町民皆様には、議会活動に関心を深めていただき、叱咤激励並びに温かいご支援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。



議長 米澤 秋男



副議長 猪股 信俊

# 議員紹介

平成17年3月20日の選挙で選出された議員を紹介します(議席順)



1番 佐藤 正憲  
3期目  
小野田：西上野目



2番 米木 正二  
6期目  
中新田：十日市



3番 早坂 良平  
3期目  
小野田：小瀬



4番 一條 光  
3期目  
小野田：東上野目



5番 吉岡 博道  
3期目  
小野田：原



6番 門脇 幸悦  
3期目  
中新田：下多田川



7番 下山 孝雄  
4期目  
小野田：長清水



8番 沼田 雄哉  
1期目  
宮崎：上小路2



9番 工藤 清悦  
2期目  
中新田：下新田上



10番 三浦 英典  
1期目  
宮崎：小泉



11番 佐藤 善一  
3期目  
宮崎：北永志田



12番 近藤 義次  
11期目  
中新田：岡町



13番 佐藤 澄男  
5期目  
小野田：雷



14番 福島 久義  
3期目  
中新田：四日市場沖



15番 尾形 勝  
3期目  
中新田：上多田川下



16番 高橋 源吉  
2期目  
小野田：小野田城内



17番 一條 寛  
1期目  
小野田：北区



18番 星 義之佑  
4期目  
中新田：西町



19番 猪股 信俊  
4期目  
宮崎：柳沢



20番 米澤 秋男  
5期目  
中新田：下新田下

前年比4.7億円増

# の予算を可決

## 一般会計

加美町として3回目の予算編成となる平成17年度は、依然として地方財政の厳しさが続く中、国の三位一体改革により一層の行財政改革に迫られています。国、県が前年度比それぞれ0.1%増、0.9%減の「緊縮型予算」となっている中で、加美町は合併の優遇制度を生かしながら0.4%の微増となりました。議会費については新しい定数によって49%減となりました。



横浜ドイツ学園の子供たちとの交流

## 一般会計 140億6,500万円

### 歳入

|         |            |
|---------|------------|
| 町税      | 22億1,056万円 |
| 地方交付税   | 58億5,000万円 |
| 国庫支出金   | 6億5,482万円  |
| 県支出金    | 6億6,749万円  |
| 繰入金     | 4億5,900万円  |
| 町債      | 28億7,590万円 |
| ほか(15款) | 13億4,723万円 |

### 歳出

|        |            |       |            |
|--------|------------|-------|------------|
| 議会費    | 1億3,258万円  | 土木費   | 10億2,673万円 |
| 総務費    | 20億549万円   | 消防費   | 5億1,912万円  |
| 民生費    | 23億1,180万円 | 教育費   | 31億3,675万円 |
| 衛生費    | 10億3,350万円 | 災害復旧費 | 150万円      |
| 労働費    | 493万円      | 公債費   | 26億7,705万円 |
| 農林水産業費 | 9億1,517万円  | 予備費   | 3,369万円    |
| 商工費    | 2億6,669万円  |       |            |

新町建設計画の実行を基本に

# 総額 245 億円

## 特別会計

町が特定の事業を行う場合や、特定の歳入をもって特定の歳出を行う場合の特別会計は、加美町としてこれまで12会計あったものに、17年度から1会計を加え総額の97億4,005万円を審議し可決しました。

今回新設されたものは、浄化槽事業特別会計で、下水道事業計画に定められた地域外に、合併処理浄化槽を設置し維持管理をする条例制定に伴うものです。



健康体操で元気なお年寄り

## 特別会計 97億4,005万円

|             |            |                |            |
|-------------|------------|----------------|------------|
| 国民健康保険事業    | 25億5,500万円 | 霊園事業           | 145万円      |
| 老人保健        | 30億5,500万円 | 町営駐車場事業        | 820万円      |
| 介護保険        | 14億5,600万円 | 小野田温泉保養センター等事業 | 4億3,600万円  |
| 介護サービス事業    | 3,500万円    | 下水道事業          | 15億3,500万円 |
| 加美郡介護認定審査会  | 580万円      | 浄化槽事業          | 5,800万円    |
| 簡易水道事業      | 5,300万円    | 工業用地等造成事業      | 5億3,600万円  |
| 小野田簡易給水施設事業 | 560万円      |                |            |

## 水道事業会計 7億3,764万円



昨年試行運転した住民バス

# 予 算

# 審 議

## 一般財源の比較は

**Q** 三位一体改革により、地方税と地方交付税、臨時財政対策債のいわゆる一般財源は16年度と比較してどう影響あるのか。

**A** 地方税と地方交付税、臨時財政対策債の合計については、平成17年度まで85億3,000万円ほど見えています。平成16年度の決算見込みで90億9,000万円で、約5億6,000万円の差があり、その内地方交付税では2億ぐらい減収になっています。

## 税金未納の対応

**Q** 15年度決算で収入未済額がトータルで1億8,000万円ほどになっているが、滞納者に対してどのような対応をしていくのか。

**A** 現在は給与差し押さえ、それから申告等により、所得税の還付金を差し押さえるなど、いろいろな対策を講じています。

## 住民バスについて

**Q** 住民バスの運行について協議会等を予算化していないのは、どういう理由か。

**A** 住民バスに関する運営協議会等の委員については、人選を含め検討を行っていますが、利害関係者の参加等も考えているため、報酬については、計上していません。

## 新庁舎建設委員会の設置

**Q** 新庁舎の建設検討委員会の委員の報酬が予算化もされ、新庁舎建設というものが初めて予算等に出てくるが、検討委員会のメンバーを伺いたい。

**A** 新庁舎建設検討委員会でありませんが、メンバー等々については、まだ考慮中です。



現庁舎（本所）

## 産廃処分場について

**Q** 環境基本条例等に関わる問題であるが、鳴子町向山地区の産廃処分場の建設に断固として反対の立場を堅持するということだが、現状はどうなっているのか。

**A** 昨年4月5日、(株)循環から大崎保健福祉事務所所に鳴子町向山地区の産廃建設に対しての計画概要書が提出されており、7月7日、宮城県におきまして関係当局審査の結果、計画不備につき差し戻しとされており、今年2月22日、同社が再度計画概要書を大崎保健福祉事務所に提出しております。



鳴子町向山地区

## 地域特産物施設整備事業

**Q** 園芸振興費の中の設計管理委託料801万2,000円、そして工事請負費1億7,048万円の内容について伺う。

**A** 地域特産物施設整備事業は、平成17年度の新規事業であり、中新田のキノコ培養組合が管理する培養施設の改良工事であります。今現在売上げが2億5,700万円となっており、宮城県内の約70%のシェアを占めています。



上多田川下にある中新田きのこセンター

## 森林空間活用施設整備工事

**Q** 森林空間活用施設整備工事6,525万円とあるが、来年度にかけての事業内容のスケジュールはどの順序で行うのか。

**A** 白沼、長沼地区で平成14年度から平成18年度までの事業で実施しており、16年度まで道路キャンプ場が整備され、17年度は炊飯施設とトイレ1棟、給水施設を、18年度に体験交流施設を整備する予定です。

## 広原小学校の建設

**Q** 広原小学校の建設工事費7億5,000万円の内容は。

**A** 建物の構造は1階建てで鉄筋コンクリートで考えています。広原小学校の内部に可能な限り地産の木材を使うように指示しています。



広原小学校



キャンプ場として整備された長沼付近

# 制定 町条例 改正

## やくらい地区に パークゴルフ場オープン 加美町山村ふれあい公園 条例の制定



4月23日のオープンセレモニー

町民の健康と福祉の増進、都市との交流拡大を図り、活力ある地域づくりを目的として、平成15年度から整備を進めてきた山村ふれあい公園が3月に完成したことに伴い、施設の設定及び管理に関する事項を定めたもの。

|            |       |
|------------|-------|
| パークゴルフ場使用料 | 4000円 |
| 一人一日       | 400円  |
| 用具使用料      | 3000円 |

## 豊かで美しい自然を未来の 子供たちにつないでいくために

### 加美町環境基本条例の制定

地球温暖化やごみの大量廃棄など環境悪化が叫ばれている中で、町、町民、事業者などがそれぞれの役割を持って協力し合いながら、将来にわたって加美町の環境を守っていくために、その基本的な考え方を条例として定めたもの。



アユ釣りでにぎわう明神堰

## 公共下水道事業の計画区域以外の 生活環境の保全と公衆衛生の向上に

### 加美町浄化槽事業条例の制定

町が設置主体となつて個別の浄化槽を整備し、し尿と雑排水を併せて処理することを目的とし、適正な設置、維持管理、必要な費用負担等の条項や罰則を定めたもの。



中新田浄化センター内の処理施設

### 《その他の議案》いずれも可決

- 加美町議会委員会条例の一部を改正
- 加美町浄化槽事業特別会計条例の制定
- 加美町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正
- 加美町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正
- 加美町職員の給与に関する条例の一部を改正
- 加美町税条例の一部を改正
- 加美町工業用地等造成事業特別会計条例の一部を改正
- 加美町集会所条例の一部を改正
- 加美町老人憩いの家条例の一部を改正
- 加美町産業活性化研修施設条例の一部を改正





行政改革推進協議会

# 総務

## 常任委員会

- 一、合併の経過と課題について
- 二、環境保全について

行政改革については、市内に行政改革検討部会、行政改革推進委員会を設置し、町長との間で大綱案を作成し、行政運営の効率化、住民サービスの

向上を図るため行政改革大綱の策定に向け本年度から組織の整備に着手する。

策定にあたっては、住民のニーズに即応し、住民サービスの低下することのないように組織改革及び施設利用計画等行政運営の効率化を図るとともに、行政評価システムの導入、人事評価、民間活用等も充分検討し大綱の整備に早急に努めるべきと考える。

中長期財政計画の整備については、国の「三位一体改革」が示されたことにより、財政計画の見直しが必要とされてきている。平成16年度から3年間で国から地方への税源移譲、国庫補助金負担金の削減、地方交付税の見直しを行うものである。内外の動向を勘案した財政計画の再構築が必要とされる。

税制体制については、

本町の市町村税の合計額と国民健康保険税の収入額が平成14年度と平成15年度を比較すると減額している。

また、新町建設計画での町税額と平成15年度決算額を比較すると、2億3,900万円が減額している。このことは、今後の財政運営に大きく影響を及ぼすことから財政計画の見直しが必要と思われる。

納税義務者の公平・公正の観点から徴収体制の更なる工夫により収入未済額、不能欠損額の減額に努力すべきである。

また、環境保全について、廃棄物処理を中心として、調査したが、一般廃棄物処理施設については、平成17年度に六の国環境衛生組合と大崎地域広域行政事務組合が統合することで、効率性、経済性が図られることを期待すると同時に町民に対し更なる



旧六の国環境衛生組合

るゴミの減量化、リサイクルの啓蒙、推進に努めるべきと考える。

産業廃棄物処理施設については、現在、知事の許可に基づく民間事業者の設置運営となつているものの、実態は環境問題を起している例も多く見られることから、法令の整備を待ちながら当面の策としては、国、県など公の機関が関与する仕組みを構築するべきと考える。

# 文教民生

## 常任委員会

- 福祉施設・社会施設の現況について

町内の私立幼稚園について、中新田地区の幼児教育については、私立幼稚園に依存するところが大きいので、町や教育委員会からの情報等の提供を、町立・私立の区別なく行うなどの配慮が必要と思われる。

また、建設中の中新田地区統合保育所との関連について、サービス面などで重複する場合も考えられるため運営体制についても、私立幼稚園関係者を交えた協議が必要と思われる。

介護施設については、昨年、町内でもグループホームが開設されるなど、一部で民間による長期滞

在型の施設が運営されているが、町内にある特別養護老人ホームに長期入所を希望している待機者の数が町内だけで200人を超えており、何らかの対策が必要と思われる。築20年を経過した青風園の改修なども今後必要となる見込みと聞いているが、「宮崎地区にも特別養護老人ホームを」という要望が一部であり、それらを踏まえて加美玉造福祉会と前向きに協議を進めていただきたい。



建設中の中新田統合保育所

# 産業経済

常任委員会

加美町商工業

実態について

本町の商店街を見ると、売上高が極度に落ち込み、販売力が年々低下の傾向を示す極めて厳しい状況である。本町の商店街は古くから農家とのかかわりが深く、昨今の農業情勢から農業粗生産額、一戸当たり所得額が減少傾向にあり、これ以上の消費の伸びは期待できないと思われる。商工会や商



花楽小路商店街

店街はいろいろな活性化対策を考えているが、これといった手だてはない。また、こうした中、追い打ちをかけるように本年、大規模小売店舗の進出が予定されており、本町の商店街は、さらに厳しい情勢が予想される。こうした問題を踏まえ、藩政時代から続いてきた伝統ある商店街をいまだ一度活気ある町に蘇らせるためにはどうすべきかを、お互い知恵を出しあつて考える必要がある。そのためにはこれまでの古い概念を一掃し、消費者及び地域住民に支持される商店街へ経営意識の改革

を図り、積極的に販売促進活動を行うこと。また、後継者が夢と希望を持てる商店街づくりにはハード面とソフト面の改革が必要であり、やる気のある若い商工人が中心になって、大型店と共存共栄できるような新しい加美町商店街振興方策を示すべきと考える。誘致企業の実態については、景気の低迷が続く中、積極的な企業努力により安定した経営状態を保っている企業もある。撤退した東洋紡には



大規模小売店舗の建設予定地

ハリマ共和物産株が進出を、2月から操業を開始している。また、昨年10月から操業しているタカノフーズ(株)は西日本における納豆の消費が伸び、工場は常にフル操業の状態である。昨今、不況による雇用不安定を抱えたままの状態が続いており「緊急雇用対策室」の設置を考慮するなど、誘致企業と連携を密に早急に雇用問題に取り組んでいた。また、



タカノフーズ

# 建設

常任委員会

加美町道整備

計画について

現在道路は、生活・文化・産業経済など地域間交流の基盤として活力ある地域づくりに欠くことのできない極めて重要なライフラインとなっている。道路整備については、

着実に成果を上げていくが、地方の道路整備は未だ立ち遅れている状況にある。圏域内外の各地域間相互を連携する国・県道を軸に、主要施設への

アクセス道路や、集落間を結ぶ幹線町道の構築が求められている現状である。

合併により住民の日常生活や産業経済の交流で交通量が増加する傾向にあり、道路通行機能性の確保と、事故防止が求められる。さらに災害時の対応や冬期間における通行の確保等、未だ整備が求められている。長期的な道路整備計画に基づき、安全で安心して通行できる対策を講じていく必要がある。地域の実情を考慮の上、確実に実施されるよう強く望むものである。



整備が望まれるアクセス道路



インターネットで議会中継も実施



一問一答方式の議場を視察

# 議会運営

## 委員会

### 議会の運営について

本委員会では、町民に開かれ親しまれる議会としてその活性化を求め、インターネットによる議

会中継の導入、会議室の全面禁煙、一般質問方法・条例・規則の改正、先例の見直しについて議論を行った。

議会中継は、最も基本的な議会情報である本会議員の審議状況をインターネットを通じて多くの町民に提供し、議会広報の一層の充実と町民への

より開かれた議会の推進に資することを目的とし、平成16年6月定例会より導入した。

また健康増進法の施行に伴い、役場庁舎が分煙化されたことから、平成16年4月より議員控室や会議室の全面禁煙を実施した。更に、これに合わせ先例集の全面見直しを

行った。

一般質問については、合併により広域化したことから、利便性を図り、平成16年9月定例会よりファックスでも受理できるようにした。

また、一問一答方式や対面方式など一般質問の形式についても調査・検討を実施しており、今後

の課題としたい。

条例・規則等の改正については、合併特例後に議員数が49名から20名に減少することから、それに応じた定数条例・委員会条例・会議規則・先例の見直しについて検討を行った。

## 請願審査

### 「教育基本法の改正について反対の意見決議を求める請願書」

#### ● 審査結果

12月定例会で文教民生常任委員会に付託された当請願については、昭和22年に制定された教育基本法であるが、国内の社会や国際社会、国民意識の変容を考慮し、成熟した国内情勢を踏まえれば、改正もやむを得ないとして、当請願は不採択とすべきものと判断した。

#### ● 採決結果 起立少数により不採択

### 「鳴瀬川の清流を守る条例を制定することについて」

#### ● 採決結果 反対多数により不採択

# 常任委員会

◎は委員長 ○は副委員長

常任委員会は、地方自治法に基づき加美町議会委員会条例により、その名称、定数及び所管事項等が定められています。4月4日に開催されました臨時議会で決定した常任委員は次のとおりです。

## 総務建設常任委員会

●庶務、税務、住民生活、土木、水道、下水道及び他の委員会に属しない事項に関する事務の調査並びに議案、請願及び陳情等の審査を行います。



前列左から

○下山孝雄

◎福島久義

猪股信俊

後列左から

一條 光

門脇幸悦

尾形 勝

円 内

早坂良平

## 教育民生常任委員会

●教育、保健及び福祉に関する事務の調査並びに議案、請願及び陳情等の審査を行います。



前列左から

佐藤澄男

◎近藤義次

○工藤清悦

後列左から

一條 寛

吉岡博道

沼田雄哉

## 産業経済常任委員会

● 農林、商工及び観光に関する事務の調査並びに議案、請願及び陳情等の審査を行います。



前列左から

米木正二

◎佐藤善一

○星義之佑

後列左から

三浦英典

佐藤正憲

高橋源吉

● 議会の運営、会議規則等、議長の諮問に関する事項の調査並びに議案及び陳情等の審査を行います。



◎は委員長

○は副委員長

前列左から

近藤義次

◎米木正二

○尾形 勝

後列左から

佐藤善一

福島久義

佐藤澄男

議会運営委員会

# 議会広報編集調査特別委員会

◎は委員長 ○は副委員長

●議会等の内容について、町民の皆さんにお伝えするために、編集調査をします。



前列左から  
 ○門脇幸悦  
 ◎佐藤正憲  
 吉岡博道  
 後列左から  
 三浦英典  
 一條 光  
 沼田雄哉

**あなたも議会を  
傍聴してみませんか!**

議会の傍聴は町政を知るよい機会です。  
お気軽にどうぞ。

議会傍聴風景



発行／加美町議会

〒981-4392  
宮城県加美郡加美町字長檀75番地2  
☎0229-675120



印刷部100%  
印刷70%以上を環境にやさしい紙で印刷

◇議会選出監査委員 吉岡博道  
 ◇大崎地域広域 行政事務組合議会議員 長 米澤秋男  
 ◇加美郡保健医療福祉 行政事務組合議会議員 議長 米澤秋男  
 副議長 猪股信俊  
 教育民生常任委員長 近藤義次  
 教育民生常任副委員長 工藤清悦

## 編集後記

加美町が誕生してから、初めての議会議員選挙により、新たな広報委員会がスタートしました。「議会は常に町民のそばに」をモットーに議会広報を編集し、より見やすく、より理解しやすく、活動を伝えてまいりますのでよろしくお願いたします。

委員長 佐藤正憲  
 副委員長 門脇幸悦  
 委員 一條光  
 沼田博道  
 三浦英典